

# 平成29年度 学校評価における自己評価について（報告）

認定こども園

鳥取第二幼稚園・おひさま保育園

## 1. 学校の教育目標

「生きる力があふれる子ども」の育成

～明るく・やさしく・たくましく～

- ・自ら目標を持ってたくましく活動する子ども
- ・友達の気持ちを思いやり、協力しあって遊べる子ども
- ・素直に感動する心を持ち、感動を想像豊かに表現できる子ども
- ・豊かな生活経験の中から、物事を知的に理解し判断できる子ども
- ・豊かな感性を持ち、生きる力を身に付けた子ども

## 2. 学校評価の具体的な目標や計画

◆今年度の研究テーマ 「主体性のある子どもを育てる遊びや生活を考える」

- ・学年のテーマを設定し、研究テーマにそった環境作り、保育教諭の援助を考えていく。  
（0歳児）先生大好き （1歳児）おもしろい！ （2歳児）「できた」がいっぱい  
（年少児）やってみよう（年中児）「わくわく、どきどき」やってみたい  
（年長児）考え、試し、みんなと楽しもう

○教育の重点 健康な心と体づくり

- ・週3回の朝のランニング「らんらんタイム」と体操 ・週1回の顎を鍛える「かみかみタイム」
- ・食育活動（ぱくぱく農園で野菜栽培、食育クッキング）

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1) 人権保育	A	・集団生活の場で一人一人が自分らしさを発揮し、仲間と共に育ち合うことのできる学級・園経営を目指した。保護者アンケートでも「園はお子様を大切にし、愛情と誠意をもって対応している」の項目に対して高い評価をいただいた。
(2) 指導の強化(運動)	B	・隣接の高校校庭を使用し、週三回のらんらんタイムを計画した。しかし、雨天後等には校庭の状態が悪くなり、実行できないことがあった。そのため、園舎内で体操やボールを使った運動遊びをしたり、マラソン大会を園外の施設を利用して行う等の工夫をした。今後、園バスで出かけ、体を動かす活動を増やしていきたいと考える。

評価項目	結果	理由
(3) 特色教育(音楽)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音楽教育（リトミック、歌唱、楽器指導）について、職員の指導力に個人差があるため、音楽教室の先生を講師として園内研修をしたり、園外の研修に参加する機会をつくってきた。また、各自が自己研鑽を重ね、保育にいかすことができたように思う。また、乳児部で行っていた「わらべうた」についても、外部講師の指導を受け、日々の保育に実践することができ、ゆったりと楽しい時間をもつことができた。</li> <li>• 毎月の歌を決め、全園児が月の歌を楽しんできた。全園児が同じ歌を歌えることは人と人とを繋げることにも効果があった。</li> </ul>
(4) 教育課程・指導	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昨年度は、「主体性のある姿やそのための保育環境や援助」の捉えが異なっていたことをふまえ、学年のテーマを設定して共通理解をしたうえで、研究テーマにむけて取り組んできた。研究会では、田の字法を使ってグループ討議をしたり、多くの職員が参加できるように工夫してきた。</li> <li>• 食育活動は、計画的に行うことができたが、農園活動は野菜の収穫の時期を考えて、内容を検討していきたいと思う。</li> </ul>
(5) 特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年度当初に支援が必要な園児について、一人ずつに、保護者、園長、担任、加配職員と一緒に発達の状況や支援の方向性について確認を行った。また、加配職員の話合いの記録を全担任に回覧した。これにより、職員が支援が必要な園児の困り感や望ましい援助の在り方を共有することができた。</li> <li>• 専門機関と保護者の協力を得て、小学校への移行支援を丁寧に行うことができ、年長児が安心して就学することとなった。</li> </ul>
(6) 健康・安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「げんきっこだより」で、家庭に園児の健康状況（主に感染症）をこまめに伝え、マスク着用の協力を促してきた。また、手洗い・うがい・手消毒を園全体で励行し、室内環境（換気・室温調整）に留意してきた。</li> <li>• 毎月、避難訓練と交通安全指導等の安全指導を行ってきた。避難訓練では内容を変えながら行い、回数を重ねるごとにスムーズに行動できるようになった。交通安全については、チャイルドシートの着用、登降園時に子どもの手をつないで道路を横断することをひきつづき保護者へ啓発していきたい。</li> </ul>

評価項目	結果	理由
(7) 子育て支援	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 園開放では園の特色であるリトミックや体育教室、季節の活動を楽しんでもらった。子育ての相談を受けることは少なかったが、園開放以外の日にすすくルーム利用の方が多く、親同士や職員との会話の場となった。</li> <li>• 2歳児を子育て支援で受け入れている。こども園の中で基本的な生活習慣を身に付けたり、人と関わる力を培って成長した姿が見られ、2歳児保育の良さを実感した。</li> </ul>
(8) 組織運営・園運営	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 乳児部と幼児部の保育活動の理解や職員同士の連携を目的に合同職員会を行ってきた。勤務体制の違いもあり全員がそろうことが難しかったが、行事運営については、副園長を中心に確認をしながら進めていった。</li> <li>• 園務分掌により、全職員がそれぞれに役割を担当し、責任を持って実行していった。担当だけでは難しい時は、協力しながら進めていくことができた。</li> </ul>
(9) 領域研究	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境・健康・言葉の3つの領域に分かれて研究を進めてきた。領域ごとに行っている取り組みは充実していた。</li> <li>• 毎月のあいさつ運動週間の啓発により、園と保護者、保護者同士のあいさつが活発になった。朝のあいさつが中心のため、いろいろな場面（時間）でも元気なあいさつができるように環境作りや指導をしていきたい。</li> </ul>
(10) 地域との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行事案内では、地域の方においでいただき園の活動の様子を見ていただくことができた。また、今年も引き続き西中校区PWWの会、醇風校区幼保小連絡協議会に参加し、地域の方や中学校、小学校の校長先生や他園の園長先生との交流があり、地域の子どもの情報交換や教育について、共通理解することができた。</li> </ul>
(11) PTA活動	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年も乳児部の保護者も各部の行事の手伝いに参加していただいた。就労されている保護者の方が多くなっているため、部会のもち方（内容・回数）について考えていきたい。</li> <li>• 「親児の会」「つぐみの会」「マミーズの会」が活発に活動を展開してくださった。行事を盛り上げながら、保護者同士の関わりも深まり、園生活を楽しんでいただくことへ繋がった。</li> </ul>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども達の発達段階をふまえた基本的な生活習慣、園の特色をいかした教育課程の中で年齢の育ちを繋げていく縦の連携がしっかりできるようになった。また、安全・安心の環境に心がけ、子ども達の園生活の様子を、保護者に丁寧に伝えていくことで、信頼関係を築くことができたことを嬉しく思う。</li> <li>• 昨年と引き続き「生きる力があふれる子ども」の育成を教育目標に、研究テーマを「主体性のある子どもを育てる遊びや生活を考える」を掲げて取り組んできた。昨年度の反省点をふまえて、研究会の持ち方を全職員の意見交換ができる参加型の体制を行った。また、特色教育に関しても、職員の研鑽が保育にいかされ、子ども達の確かな成長につながっていったと感じる。 今年度の成果を次年度へつなげ、一層、研究を深めていきたい。</li> </ul>

◎「3. 4」の評価結果

A	十分達成された。
B	達成されている。
C	取り組まれているが成果が十分ではない。
D	取り組みが不十分である。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p style="text-align: center;">組織運営・園運営 (園行事の運営について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度は隣接する鳥取城北高等学校の校舎工事に伴い、バザー・運動会・音楽発表会、保育参観等の行事の運営を大きく変えて開催した。親子で楽しみながら、子ども達の成長を育むことができるように職員が試行錯誤をしながら活動内容を組み立ててきた。そして、保護者の方の理解と協力を得て、開催することができ、どの行事も高評価をいただいた。次年度も同様に、大きい行事は園外の施設を利用しての開催になるため、反省や課題をしっかり反映しながら、より良い運営を考えていきたい。</li> </ul>